

中 令和6年度 グランドデザイン

佐渡市立相川中学校

■佐渡市教育大綱

「明日の佐渡を創る人、世界と共に生きる人の育成 ～一人一人の自己実現を目指した教育の推進～」

【教育目標】

ともに支え ともに生きる ～仲間とともに 地域とともに～

■新潟県 学校教育の重点

ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり

【重点目標】

～育てたい4つの力 4つの心～

自分で考える力

自分で正しく判断し、行動する力

自分の考えを相手にわかりやすく伝える力

自分の限界に挑戦する力

思いやりの心

感謝の心

認め合う心

素直な心

○他とかかわり合いながら主体的に学ぶ生徒

知

- 自らの「問い」を大切に授業づくりや、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりを通して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- 「授業改善15のポイント」の推進を図る。
- 次時の授業に繋がる課題を提示し、家庭学習の習慣化を図る。

○豊かな人権感覚を基に、互いに認め合い、支え合い、高め合う生徒 ○人を応援することができる生徒、人から応援される生徒

徳

- 道徳や学級活動などにおいて、有効な手法やメディアを用いて互いの意見を交流し、他者を尊重する態度を育てる。
- 目的に応じて様々な集団を組織し、その活動を通して生徒相互の絆を深めるとともに、学校生活の充実を図る。
- 生徒を主役に「いじめ見逃し0スクール運動」や「人権学習」を展開し、心の居場所となる集団づくりを図る。
- 地域学習や地域貢献活動など、地域と関わる活動を通して、郷土愛と社会貢献への意欲を育む。

○心身の健康の保持増進に努めるとともに自己管理ができる生徒

体

- 自分の体力課題や生涯にわたるスポーツライフについて、自分で考えて、運動への取組方法を工夫できる生徒を育成する。
- メディアコントロールの意識を高め、より良い生活習慣の定着を図る。
- 生涯にわたって健康を保持増進するために、「食」への関心を高め、自己管理できる能力を育てる。

より良い人間関係を構築する人権教育、同和教育の充実

信頼される学校づくりに向けて（家庭・地域と連携した教育の推進 小中連携の推進）

家庭・地域との連携

- 学校 HP、各種たより等を通して、積極的に学校の様子を伝え、教育活動への理解に努める。
- 佐渡学を通して、地域を知り地域を誇りに思う生徒を育成する。
- 課題解決型職場体験学習を通して、地域で働く意義を学ぶ。

地域とつながる教育活動の推進

- 「地域とともに生きる」を様々な教育活動と関連付け、地域の中での体験活動等に協力する。
- 学校運営協議会を中核としたコミュニティスクールの活動を機能させ、積極的に地域と連携した教育活動を推進する。
- 「各小学校区青少年健全育成協議会」との連携により、生徒の健全育成に積極的に取り組む。

小中連携教育

- 児童生徒に関するきめ細かな情報交換を行い、育てたい子どもの姿を共有する。
- 小中合同で9年間を見通した目標連携、行動連携、共通指導事項を設定し、子どもたちの教育活動の連続性を高める。
- 子どもたちの人権感覚を育み、実践力を高めるために、相川中学校区人権教育、同和教育年間指導計画を確実に取り組む。

目指す職員集団

- 目的意識と同僚性を大切にし、「チーム相川」となって教育活動に当たる職員集団。
- 生徒の将来を第一に据えた教育活動を進める職員集団。
- 生徒同士が互いに認め合う機会を意識的につくる職員集団。
- 保護者・地域から信頼され「地域とつながる」活動を進める職員集団。

相川中学校 PTA 相川中学校学校運営協議会 各小学校区青少年健全育成協議会 相川小学校 金泉小学校 七浦小学校